

---

# Crown of Soul

デルクェス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Crown of Soul

### 【Nコード】

N3171I

### 【作者名】

デルクエス

### 【あらすじ】

場所は王都【ハイゼンムーブ】

主人公はもつとも王位継承の確率の高い第八王子『キッド・ルーア・ハイゼンムーブ』………の影武者、『シド・ルーア・ハイゼンムーブ』。

毎晩のようにキッドを狙うほかの王位継承候補の刺客を毎回絶望と後悔の渦に突き落とし、殺す残虐さと、命を賭けてキッドを守る忠誠心を持っていた。また、そのキッドもシド以外周りに寄せ付けず、絶大な信頼を寄せていた。

そんな王都の、王位継承をかけた完全な闇世界の物語である。

第一話 存在する理由（前書き）

必ず完結させてみせますよ！

## 第一話 存在する理由

『なんだお前！や…やめろ！来るなあ！』

『呪われる！近

寄るな！塵が！』

『お前のせいだ………父さんを返せ！』

『た…助け………うわあああああああ………！………！』

俺は……

俺は一体……なんなんだ？

俺は……何のために……

やめる！

やめる……

やめる…

俺を見るな！

やめろやめろやめろやめろやめろやめろやめろやめろやめろ  
やめろやめろやめろやめろやめろやめろやめろやめろやめろ

「やめろおおおおお………」



「..」

「はあ.....はあ.....?」

ここは.....キッド様の.....部屋?

↓存在する理由↓

「ど、どつしたんだシド? 凄いうなされてたけど。」

キッド様.....しまった、起こしてしまったか.....

「すみませんキッド様、起こしてしまいましたね。申し訳ありません。」

「?、おいおいシド、二人しか居ない時はキッドっていつも呼んでるじゃんか。」

「あ……ごめん、キッド。」

この方はキッド・ルーア・ハイゼンムーブ様、この俺、シド・ルーア・ハイゼンムーブが仕える、王都【ハイゼンムーブ】の第八王子だ。でもまあ、小さい頃からの馴染みだから二人だけの時はこうやっていつも通りの……いや、いつも通りじゃ敬語か……まあとにかくこんなかんじに軽く話して居られる。

「で、大丈夫か？」

「ん、何が？」

「さっき聞いたろ?うなされてたぞ?お前。しかも尋常じゃなく。」

9

「ああ、あれは……」

さっきの……あれは……

「少し……夢を見てさ……」

「そうか、どんな夢……と、聞かない方が良いかな？」

「うん……その方が助かるから……」

あまり、思い出したくない……まるで地獄の呪いのような、そんな  
悲しみ、憎しみ、苦しみ……いろんな負の感情が混ざり合った……  
文字通り地獄だったのかもしれない……



.....  
.....

くそ。

「下がっていて下さい！キッド様！」

「んあ！ああわかった！」

せつかくの人の睡眠を……まったく、刺客さんも少しは人の都合考  
えやがれ！

相手は一人か………

潰す！

「……キッド・ルーア・ハイゼンムーブだな。」

……

は？

こいつ……俺とキッドの事間違えてるぞ！？

いきなりだから『何刺客って』な人に説明すると……

キッドは「ハイゼンムーブ」の王位継承候補のなかでもっとも学力、武力、そして人望があるため、一番王位を引き継ぐ可能性が高いのだが……そのせいで他の王位継承候補……すなわち、兄弟たちから刺客を使って命を狙われるんだ。

全く……虚しい運命背負わせやがってよ……

ちなみにキッドは自分から刺客を送ることはまず無い。

なぜかって？それは……

「ま、待ってくれ！もうお前の事は狙わない！そ、そうだ！俺はキッド様につく！だから！」

まあこんな感じに一晩で兄弟みんな潰す事もできるのだが、キッドはそれを望んでいないんだ。



「御意。」

俺はもう一度その刺客に向き直すと、腰の剣を引き抜き……真っ直ぐ振り下ろした。

「そんな！た……助けっ。」

ザシュッ！

「……………」

「ありがとう……シド……シド。」

「……………なあキッド。」

「ん？どつしたシド？」

俺は……何の為に存在するんだろっか……

聞いっつと思っただが、止めた。



「何でも…ないや。」

「そ、そうか？ならいいけど…」

「それよりもう寝なキッド、こんな真夜中に。」

「ああ、そうさせて貰うよ。シドは？」

寝たいのはやまやまなんだが……さっきみたいに今晚来ないって保証は無いからな……。

「俺は…もう少し起きてるよ。」

「そうか、無理はするなよ？」

「ああ。」

俺が無理しないとあなたが危ないんだけどね……

「それじゃあお休み、シド。」

……。

「ええ、お休みなさいませ、キッド様。」

「シド？……どうして……た？……すう。」

眠ったか……。

さて………

鼠狩りと行きますかね………！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3171i/>

---

Crown of Soul

2010年10月14日15時04分発行